

吹田市市民参画の推進に関する指針

ダイジェスト版

基本方針

市民の視点に立って行動するために以下の基本方針の下に、市民参画を推進します。

市民参画の位置づけの明確化

市民参画の目的、課題、決定事項、最終的な目標などを明確にし市民参画の位置づけを示す

検討結果の報告

行政の検討結果とその結果の至った理由を整理して速やかに市民に報告する

適切な市民参画の手法

課題に最もふさわしい市民参画の手法を採用する

評価とフィードバック

成果や課題を評価し、その結果を市民参画の充実に役立てる

適切な情報の提供と情報の共有

適切な場面で必要な情報を市民に提供し、共有する

多数の市民の参画の機会の保障

市民の多様性に配慮し、多数の市民の参画機会を保障する

市民同士の対話の促進

市民同士の対話の場をできる限り多く設定する

職員の意識改革

市民参画を進めやすい職場風土の醸成など職員の意識を改革する



吹田市自治基本条例は、市民福祉の向上のため、市民自治の確立を図る運営原則の一つとして「市民参画の原則」を定めており、市民に自らの意思と責任の下に、市政に参画することを求めています。また、行政の側も職員一人ひとりが市民参画の推進に積極的に取り組むことが必要です。

目的別の留意点等

意見聴取

市民の意向を把握する目的の手法。懇談会、パブコメ、アンケートなど。

対話の場を通じた相互理解の促進

時間をかけて話し合いお互いの理解の促進を図る。ワークショップなど。

意見の取りまとめ

個人的ではなく同じ立場の多数の市民の意向を意識して発言する。

合意形成

最終合意に到達するための技法が必要。歩み寄りの姿勢が求められる。

公式化(オーソライズ)

公式化の手続を経て「市民の意見」を確定し、政策に反映させていく。

審議会等

法律や条例により執行機関の下に設置される附属機関。公募委員枠を設定。

懇談会

市民と行政との双方向的な対話を主眼とする意見聴取を目的とする手法。

ワークショップ

集まった市民が特定のテーマについて考え、参加者の理解を深めていくことを重視。

公聴会

特定の課題に関して利害関係を有する者等から直接に意見を聞く場。説明責任を果たすことが必要。

会議に参画

市民どうして

市民会議

市民相互で案を作成する手法。情報提供やアドバイスなど、行政のサポートが必要。

市民参画の手法

様々な市民参画の手法を整理し、それぞれの手法の特徴等をまとめました

パブリックコメント

積極的に意見を表明したいと望む市民に、その機会を提供する制度。

意見の表明

意見交換等

アンケート

市民のニーズや生活実態を調べ、市政運営の参考にし、施策等に生かすことが目的。

市政への提言

郵便や電子メールにより市民からの意見や提案、要望や苦情などを受け付け内容に応じて回答する。

出前市長室

タウンミーティングなど市長が直接出向いて意見交換する場。意見を表明する市民にいかに関与するかが課題。